

# 平成21年度 市政方針

誇るべき「ふるさと根室」を  
次世代に引き継いでいくために

## 4つの重点施策

活力をもたらす産業振興と活性化の推進  
協働のまちづくりと行財政改革の継続  
市立根室病院の医療体制の充実と建設に向けた対応  
北方領土問題解決に向けた取り組み「再構築」の具現化



3月2日に開会した定例会市議会で、長谷川市長は平成21年度の市政方針演説を行い、市政施行の所信と施策の方針について述べました。

「ふるさと再興」への想いを一つに

私が、市長に就任して以来、2年半が過ぎようとしています。これまで「医師招へい」「北方領土問題再構築提言の具現化」「支庁再編問題」など、山積する課題に立ち向かい、一定の前進をみる事ができたのは、市民の皆さん並びに関係団体が「協働」の精神のもと一丸となって取り組んだ成果であり、ふるさと根室への想いが大きな力になったものと、改めて確信をしたところです。

私は、本年度における市政執行にあたり、4点を重点施策として位置付け積極的な取り組みを進めます。  
1点目は、「活力をもたらす産業振興と活性化の推進」です。

ロシアの資源管理強化が進み、漁業交渉も極めて厳しいものになると想定されることから、対口漁業について、国等の積極的な関与と支援を引き続き強く求めます。

沿岸漁業の振興については、沿岸資源の持続的な安定生産と関係漁協が取り組む沿岸資源増大事業等に対し、市として増養殖・資源管理技術の普及指導・助言に努め、漁家経

営の向上を図ります。

産業の活性化については、生産性の向上と産地根室の戦略的なPR、さらには新たな施策の展開を図ることにより雇用の維持・促進につなげるなど、産業・経済界との連携を一層強化しつつ、より積極的な取り組みを推進します。

当市の魅力と強みは「良質で安全・安心な水産物」であり、産地消はもとより、その価値と産地情報の発信力をさらに高めるため、関係機関と連携し具体的な事業展開を図るとともに、産地根室ならではの「情報発信基地づくり」について、市民にも広く参加いただきながら協議・検討を進めます。

2点目は、「協働のまちづくりと行財政改革の継続」です。本年度は総合計画における前期実施計画の最終年次となることから、各事業の達成度についての検証と、後期計画策定に向けた対応を進めるとともに、市民の考えを市政に反映するための「パブリックコメント制度」の確立・運用により、市民と行政の情報共有を推進します。また、産業・経済界と自由